

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トリドール
 コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 栗田 貴也
 (氏名) 若山 義晃

TEL 078-200-3430

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,335	62.0	1,106	80.9	1,089	80.3	519	68.5
21年3月期第1四半期	5,144	—	611	—	604	—	308	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	2,650.02	—
21年3月期第1四半期	5,026.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	20,390	6,019	29.5	30,685.57
21年3月期	18,129	5,761	31.8	88,105.16

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,019百万円 21年3月期 5,761百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	1,367.00	1,367.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 累計期間	17,680	60.1	2,240	69.5	2,210	69.3	1,050	73.0	5,352.50
通期	36,700	49.7	4,240	49.8	4,160	53.7	1,820	34.7	9,277.66

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	196,170株	21年3月期	65,390株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	196,170株	21年3月期第1四半期	61,390株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年7月30日付で、「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。
2. 本資料に掲載されている業績予想につきましては、本資料提出日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
3. 当社は平成21年6月17日現在の株主に対し、平成21年6月18日付をもって、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施いたしました。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、経済対策の効果が景気を下支えすることに加え、対外経済環境が改善することにより、景気は持ち直しされるとの期待がありますが、一方、雇用情勢に関してはより一層の悪化が懸念されております。

外食産業におきましては、引続き個人消費の下げ止まり感の兆しがみられず、大手外食レストランチェーンが本格的なリストラに着手するなど、依然として厳しい状況は続いております。

しかしながら、当社は、現在の厳しい市場環境の変化を前向きに受け止め、かつ、この機会に大いなる成長と躍進を遂げて参りたいと考えております。

当社では、「業態の専門性」を高く掲げ、低価格帯でありながら、「手作り感」や「圧倒的な出来立て感」のある演出によって来店動機を高め、付加価値の高い豊かな食を提供することで、新しい需要を創出してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高83億35百万円（前年同期比62.0%増）、営業利益11億6百万円（前年同期比80.9%増）、経常利益10億89百万円（前年同期比80.3%増）、四半期純利益5億19百万円（前年同期比68.5%増）と増収増益を維持することができました。

① 丸亀製麺部門

当部門（セルフうどん業態）におきましては、引き続き経営資源を集中させ、当第1四半期累計期間では、ロードサイド37店舗、ショッピングセンター内6店舗の計43店舗を出店したことにより、当第1四半期会計期間末の営業店舗数は、245店舗となり、当部門の売上高は66億59百万円（前年同期比93.2%増）となりました。

② とりどーる部門

当部門（焼き鳥ファミリーダイニング業態）におきましては、当第1四半期会計期間末の営業店舗数は、26店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は7億89百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

③ 丸醬屋部門

当部門（ラーメン業態）におきましては、当第1四半期会計期間末の営業店舗数は、24店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は3億89百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

④ 長田本庄軒部門

当部門（焼そば業態）におきましては、当第1四半期会計期間末の営業店舗数は、15店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は2億24百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

⑤ その他部門

当部門におきましては、当第1四半期会計期間末の営業店舗数は、18店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は2億72百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前会計年度末に比べ22億60百万円増加し、203億90百万円(前期比12.5%増)となりました。主な要因は次のとおりです。

流動資産につきましては、現金及び預金が前会計年度末に比べ1億36百万円増加し、61億67百万円(前期比1.6%増)となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が前会計年度末に比べ16億46百万円増加し、142億22百万円(前期比17.9%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる設備投資によるものです。

投資その他の資産は、前会計年度末に比べ5億2百万円増加し、49億1百万円(前期比11.4%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる敷金及び保証金、建設協力金等の増加によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前会計年度末に比べ20億1百万円増加し、143億70百万円(前期比16.2%増)となりました。主な増加要因は次のとおりです。

短期借入金及び長期借入金(1年以内返済予定を含む)の合計額が前会計年度末に比べ18億38百万円増加し、91億51百万円(前期比25.1%増)となりました。これらは、積極的な設備投資のための資金調達によるものです。

純資産は、当四半期純利益の増加により、前会計年度末に比べ2億58百万円増加し、60億19百万円(前期比4.5%増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物は、主に新規出店にかかる設備投資等のため、投資活動に使用する資金を、営業活動により獲得及び財務活動により調達した結果、前年同四半期に比べ31億67百万円増加し、50億97百万円(前年同期比164.1%増)となりました。

主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、7億4百万円(前年同期比82.6%増)となりました。

これは主に税引前四半期純利益を10億50百万円、減価償却費を4億8百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が9億97百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、20億97百万円(前年同期比185.6%増)となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が15億82百万円、敷金及び保証金の支払による支出が2億41百万円及び建設協力金の支払による支出が2億98百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、15億29百万円（前年同期比29.9%増）となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金による収入が28億円あった一方で、借入金の返済及び社債の償還による支出が9億81百万円、配当金の支払が2億61百万円あったこと等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き事業領域の選択と集中を行い、投資資金をより収益性の高い事業である丸亀製麺部門を中心に展開する予定であります。

第20期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の出店数は、前会計年度の96店舗を上回る100店舗の新規出店を計画しております。

出店形態につきましても、今後、都市計画法の改正に伴いショッピングセンターの出店の鈍化が予想されることから、引続きロードサイド店舗への出店を積極的に展開することを計画しております。

以上の状況から、通期の業績見通しにつきましては、当初、新規出店の増加に伴う変動費の増加や、求人費等の増加が予想されることから、販売費及び一般管理費の増加を折込み、売上高348億円、営業利益34億円、経常利益33億円、当期純利益13億60百万円を見込んでおりましたが、丸亀製麺部門の新規出店店舗が当初の計画額を大幅に超えて推移していることから、通期の業績見直しを見直し売上高367億円、営業利益42億40百万円、経常利益41億60百万円、当期純利益18億20百万円に上方修正させていただきます。

但し、食材に係わる安全性の問題や市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特定の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係わる減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,097,287	4,960,527
営業未収入金	658,314	689,354
原材料及び貯蔵品	51,000	42,868
繰延税金資産	65,045	133,326
その他	296,169	244,012
流動資産合計	6,167,816	6,070,089
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,811,926	4,727,038
工具、器具及び備品	1,406,810	1,077,543
リース資産	1,333,291	1,059,834
その他	710,707	752,149
有形固定資産合計	9,262,735	7,616,566
無形固定資産	58,235	44,785
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,179,136	1,952,832
建設協力金	2,146,435	1,987,682
繰延税金資産	191,644	184,147
その他	443,430	333,831
貸倒引当金	△59,207	△60,007
投資その他の資産合計	4,901,440	4,398,486
固定資産合計	14,222,411	12,059,838
資産合計	20,390,227	18,129,928
負債の部		
流動負債		
買掛金	726,238	709,102
短期借入金	1,000,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,111,091	1,985,034
1年内償還予定の社債	260,000	40,000
リース債務	111,759	100,857
未払法人税等	488,389	1,038,210
引当金	120,675	118,061
その他	2,174,817	1,762,728
流動負債合計	6,992,972	6,053,993
固定負債		
社債	—	240,000
長期借入金	6,040,490	5,028,193
リース債務	1,329,791	1,039,161
その他	7,383	7,383
固定負債合計	7,377,665	6,314,737
負債合計	14,370,637	12,368,731

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,296	1,318,296
資本剰余金	1,375,944	1,375,944
利益剰余金	3,325,333	3,067,038
株主資本合計	6,019,573	5,761,278
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16	△81
評価・換算差額等合計	16	△81
純資産合計	6,019,589	5,761,196
負債純資産合計	20,390,227	18,129,928

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,144,750	8,335,007
売上原価	1,326,263	2,062,376
売上総利益	3,818,487	6,272,630
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	3,207,102	5,166,509
営業利益	611,385	1,106,121
営業外収益		
受取利息	3,648	10,912
受取配当金	29	19
受取地代家賃	2,771	2,201
ポイント引当金戻入額	3,158	6,008
その他	2,858	7,094
営業外収益合計	12,467	26,236
営業外費用		
支払利息	12,081	38,935
その他	7,378	3,803
営業外費用合計	19,459	42,739
経常利益	604,393	1,089,618
特別利益		
固定資産受贈益	4,200	—
貸倒引当金戻入額	—	800
特別利益合計	4,200	800
特別損失		
附帯税納付額	5,178	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	40,129
特別損失合計	5,178	40,129
税引前四半期純利益	603,414	1,050,289
法人税、住民税及び事業税	270,578	469,717
法人税等調整額	24,242	60,717
法人税等合計	294,821	530,435
四半期純利益	308,593	519,854

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	603,414	1,050,289
減価償却費	196,238	408,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,400	△800
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△3,158	△6,008
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,764	△31,506
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,824	40,129
受取利息及び受取配当金	△3,678	△10,932
支払利息及び社債利息	12,081	38,935
固定資産除却損	108	—
固定資産受贈益	△4,200	—
売上債権の増減額 (△は増加)	75,595	31,040
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,572	△8,131
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,079	17,136
その他	△2,058	212,516
小計	815,500	1,741,167
利息及び配当金の受取額	84	627
利息の支払額	△11,561	△39,852
法人税等の支払額	△418,218	△997,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,805	704,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△462	—
有形固定資産の取得による支出	△518,799	△1,582,343
無形固定資産の取得による支出	△4,881	△7,776
敷金及び保証金の差入による支出	△132,255	△241,341
敷金及び保証金の回収による収入	12,753	4,017
建設協力金の支払による支出	△100,000	△298,000
建設協力金の回収による収入	14,058	34,627
その他	△4,744	△6,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△734,331	△2,097,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△83,000	△300,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△102,679	△661,646
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	—	△26,872
配当金の支払額	△116,641	△261,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,177,680	1,529,921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	829,154	136,759
現金及び現金同等物の期首残高	1,100,566	4,960,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,929,720	5,097,287

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

1. 生産、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当事業年度における仕入実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		第20期 第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
丸亀製麺	836,837	62.2	1,609,753	76.8
とりどーる	262,641	19.5	247,575	11.8
丸醬屋	111,367	8.3	106,465	5.1
長田本庄軒	45,346	3.4	56,042	2.7
その他	89,474	6.6	76,235	3.6
合計	1,345,667	100.0	2,096,073	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。

(2) 販売実績

当事業年度における販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		第20期 第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
丸亀製麺	3,447,259	67.0	6,659,293	79.9
とりどーる	811,580	15.8	789,707	9.5
丸醬屋	389,988	7.6	389,163	4.7
長田本庄軒	183,189	3.6	224,492	2.7
その他	312,732	6.1	272,351	3.3
合計	5,144,750	100.0	8,335,007	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。